

平成 21 年度 秋期 システムアーキテクト試験 出題趣旨

午後 試験

問 1

出題趣旨
要件定義では、ユーザ要求をヒアリングし、その要求を正しく理解した上で、システムの要件としてドキュメントにまとめ、ユーザに確認する。しかしながら、ユーザ要求に漏れがあったり、ユーザ要求の意味を取り違えたりすると、本来、ユーザが求めているシステムにはならないことがある。 本問は、ユーザ要求をどのような点に留意してヒアリングし、どのように要件としてまとめたか、また、その要件をまとめる際、ユーザとの認識の相違をなくすために、どのような工夫をしたかを具体的に論述することを求めている。 本問では、論述を通じて、システムアーキテクトに必要な要求分析能力や要件定義能力を評価する。

問 2

出題趣旨
基幹業務システムを再構築した場合、システム規模を考慮して、段階移行を行うことが多い。その場合、並行運用期間が発生するので、その間のデータの二重管理や新旧システムの機能差異などの課題を想定し、その対応を検討することが必要となる。 本問は、並行運用期間中の課題をどのように想定し、どのように対応したのか、また、その際、重要と考え工夫した内容について、具体的に論述することを求めている。 本問では、論述を通じて、システムアーキテクトに必要な移行方式の設計能力を評価する。

問 3

出題趣旨
近年の組込みシステムの機能を実現するために必要な技術的背景は広範囲に及び、その内容も高度化してきている。一方、常の開発期間の短縮も求められている。このため開発プロセスの遂行には、外部調達を適切に利用することが重要になってきている。 本問は、外部調達した経験、実施した開発工程設計、コスト設計、性能設計などと外部調達の関係、外部調達の対象範囲に対して作成した要求仕様及びそれらに対する評価について具体的に論述することを求めている。 本問では、論述を通じて、システムアーキテクトに必要な外部調達の実施能力を評価する。